

優秀賞

お月さまとおひる

茨城県 常総市立岡田小学校二年 梅澤 蒼依

よる、わたしはまどから見えるお月さまをながめます。わたしには、お月さまのまん丸い中に、ニコニコわらっているわたしのおじいちゃんとおばあちゃんが見えるからです。すこしとおいところにいるおじいちゃんとおばあちゃんは、さい近元気がありません。おじいちゃんが、けつえきのびようから聞かされた時、わたしはむねがくるしくなっていてはいけないものを聞いてしまったと思いました。ママには、

「じいちゃんを見てゼッタイになくなー!一ばんつらくて、一ばんかなしいのはじいちゃんなんだから、ゼッタイになくなー!」
と言われたけど「そんなこと言ったってゼッタイいぶりだよ」と心と心がけんかをしました。

と言うと、おじいちゃんは、
「おう、そうか。ありがとうな。」

と目を細めてうれしそうに言ってくれました。わたしは車いすを、ゆっくりゆっくりおしました。そして、心の中の声がとどくように、「じいちゃん、早くよくなってね。早く元気になってね」となんどもなんどもくりかえしました。

わたしにはなにもできないけど、わたしにもなにかできることはないかとかんがえて、たくさんのおるをおることにしました。ていねいに、おっておるをくりかえしました。「じいちゃんの心と体が少しでもよくなりますように…じいちゃんにえがおがもどりますように…」とねがいをこめながら、つるをおっています。たくさんのおるがおれた時、色々な色の大きなつるが花になって、おじいちゃんやかぞくみんなにえがおをどけたいです。

今日よるも、おじいちゃんとおばあちゃんが二人そろってニコニコわらっているお月さまが見えるといいな…ねがいをこめた、たくさんのおるをおりたいと思います。おじいちゃんの心にとどきますように…。

車いすで一時きたくをしたおじいちゃんは、右足のまん中からズボンでぎゅっとしばってあって、左足はあるのに右足はありませんでした。「しばってあるところはどうなっているんだらう…」とあたまの中でそうぞうしたらあたまが真っ白になって、むねがくるしくなっていて、口にぎゅっと手をあてて、そのばからはなれました。そして、声をあげないようになきました。いきがくるしかったです。後からママが来て、わたしをぎゅっとだきしめて、
「じいちゃんまってるよ、行こう!」
と言われ、なみだをぎゅっとふいて、しんこきゅうしておじいちゃんのところへ行きました。「一ばんつらくて一ばんかなしいのは、おじいちゃんなんだよな…」といいきかせて、わたしは車いすのおじいちゃんに、
「あおいが車いすをおしてあげるね。」

